

津田秀夫先生の経歴・業績

雑誌名	NOCHS Occasional paper
巻	7
ページ	72-73
発行年	2008-11-10
URL	http://hdl.handle.net/10112/2913

津田秀夫先生の経歴

○出生～学生時代

1918年6月15日	0歳	津田馬喜・増亀の三男として、大阪府西成郡今宮町大字今宮にて誕生
1931年4月1日	12歳	大阪府立今宮中学校入学
1936年3月31日	17歳	同校卒業
1937年4月1日	18歳	東京高等師範学校文科第4部に入学
1940年3月31日	21歳	同校第3学年修了
1940年4月1日	21歳	東京文理科大学史学科国史学専攻に入学
1942年9月21日	24歳	同大学卒業

○戦争入営～戦後

1942年9月30日	24歳	任地方教官 岐阜県中津農林学校教諭
1942年10月1日	24歳	現役入営のために休職
1944年7月1日	26歳	退営 即日召集
1946年5月7日	27歳	召集解除 復員
1946年11月30日	28歳	岐阜県中津農林学校教諭を辞職
1947年3月31日	28歳	任文部教官 大阪第一師範学校勤務
1951年3月31日	32歳	大阪学芸大学講師に配置換



○東京教育大学時代

1952年9月16日	34歳	東京教育大学講師に配置換
1953年11月1日	35歳	東京教育大学助教授に昇格
1956年4月1日	37歳	併せて大学院文学研究科授業担当を命ぜられる
1959年4月1日	40歳	併任 東京大学研究員（社会科学研究科）（1961年3月31日まで）
1961年4月1日	42歳	併任 東京大学講師（社会科学研究所）（1964年3月31日まで）
1961年8月1日	43歳	文部省史料館専門委員（1965年3月31日まで）
1962年3月31日	43歳	文学博士（旧制）
1963年4月1日	44歳	兼任 中央大学経済学部講師（1979年3月31日まで）
1964年9月	46歳	併任 東北大学文学部講師 集中講義
1966年4月1日	47歳	併任 東京大学経済学部講師（同年10月31日まで）
1969年4月1日	50歳	兼任 中央大学大学院経済学研究科講師（1971年3月31日まで）
1971年2月1日	52歳	学術審議会専門委員（1972年12月31日まで）
1974年5月1日	55歳	東京教育大学教授（文学部）に昇格
1974年12月	56歳	併任 琉球大学講師 集中講義
1975年6月1日	56歳	国立歴史民俗博物館設立準備会専門委員（1981年3月31日）
1978年3月31日	59歳	東京教育大学廃学に伴い辞職

○関西大学時代

1978年4月1日	59歳	関西大学（文学部）教授
1978年4月1日		兼任 駒沢大学大学院文学研究科講師（1979年3月31日まで）
1978年4月1日		兼任 法政大学文学部ならびに大学院文学研究科講師 （1979年3月31日まで）
1979年4月1日	60歳	兼任 奈良女子大学講師（1980年3月31日まで）
1981年4月1日	62歳	兼任 大阪大学文学部講師（1982年3月31日まで）
1983年4月1日	64歳	兼任 立命館大学大学院文学研究科講師（1984年3月31日まで）

1987年4月1日	68歳	兼任 関西学院大学大学院文学研究科講師（1989年3月31日まで）
1988年7月22日	70歳	日本学術会議会員（第14期、1991年7月21日まで）
1989年3月31日	70歳	関西大学（文学部）教授定年退職
1989年4月1日	70歳	関西大学大学院文学研究科講師（1992年9月20日まで）
1992年11月15日	74歳	東京・中野総合病院にて膵臓癌のため逝去 享年74歳
1993年8月		津田秀夫文庫が大阪市史編纂所に寄贈される
1993年11月12日		一周忌にあたり「津田秀夫先生を偲ぶ会」が開催（於東京青山会館）。
1996年1月		津田秀夫文庫古文書が関西大学文学部古文書室に寄贈される
2003年3月		津田秀夫文庫古文書目録（1）（『関西大学博物館紀要』）がだされる （2008年までに目録（7）の整理が進む）
2007年11月24日 ～12月1日		第4回文化遺産学フォーラム・関連展示（於関西大学博物館） 企画展「なにわ・大阪の文化力～大阪文化遺産学の源流と系譜を辿る～」 が開催される。

津田秀夫先生の業績

著書

- ・『江戸時代の三大改革』（弘文堂、1956年）
- ・『封建経済政策の展開と市場構造』（御茶の水書房、1961年）
- ・『日本経済史論』（共著、御茶の水書房、1966年）
- ・『封建社会解体過程研究序説』（塙書房、1970年）
- ・『日本の歴史2 天保改革』（小学館、1975年）
- ・『新版 封建経済政策の展開と市場構造』（御茶の水書房、1977年）
- ・『幕末社会の研究』（柏書房、1977年）
- ・『近世民衆教育運動の展開』（御茶の水書房、1978年）
- ・『わたしと歴史学』（私家版、1979年）
- ・『近世民衆運動の研究』（三省堂、1979年）
- ・『史料保存と歴史学』（三省堂、1992年）



編著

- ・『明治国家成立の経済基盤』（御茶の水書房、1966年）
- ・『解体期の農村社会と支配』（校倉書房、1978年）
- ・『近世国家の解体と近代』（塙書房、1979年）
- ・『近世国家の展開』（塙書房、1980年）
- ・『近世国家の成立過程』（塙書房、1982年）
- ・『近世国家と明治維新』（三省堂、1989年）
- ・『新修大阪市史 第四巻』（1990年）
- ・『図説大阪府の歴史』（責任編者、河出書房新社、1990年）

謹呈論文集

- ・津田秀夫先生古稀記念会編『封建社会と近代』（同朋舎出版、1989年）

津田先生を偲ぶ会編『津田秀夫先生を偲ぶ』（1993年）をもとに作成。